

閑上地区まちづくり協議会

第5回公園緑地部会報告

日 時：平成28年3月13日（日）
10：00～12：00

場 所：名取市 手倉田サロン

参加者：一般3名、
コーディネーター2名、
針生代表世話役、宇佐美世話役、
名取市3名、コンサル3名

<議題>

1. 子育て世代へのヒアリング報告
2. 中央公園（最終案）についての意見交換
 - ・子育て世代の意見について
 - ・その他公園緑地部会としての意見集約
3. まとめと今後の方針

<意見交換等>

- ・現在の中央公園の意見等は次のとおりである。（コンサル）
 - ・夜間照明は、公園利用者の安全を配慮した位置に設置する。
 - ・ボール遊びを可能とするが、利用世代や利用形態毎にゾーン分けし、安全が確保できるよう境界部分を工夫する。
 - ・地区民運動会時にトラックの周りにテントが張れるようにする。
 - ・新閑上公民館ワークショップでは、花見ができるようにとの意見が出ていたが、必要ないのではないか。
 - ・樹木は、花粉症の方に配慮し、杉などの花粉が飛散する木は避ける。
 - ・東屋は大きすぎる。
- ・3月12日（土）の新閑上公民館ワークショップに針生代表が出席し、次の意見を伝えた。必要性等は理解していただいたが、今後の設計の際に検討をするということであった。
 - ・外向きのトイレ、手洗い場を設置する。
 - ・公民館から公園が見渡せるようにする。
 - ・館内でWi-Fiが利用できるようにする。
- ・見守りをするため、カメラやスピーカーを設置したらどうか。
- ・公民館と公園は、一体的な利用が考えられるので、管理も一体化するよう行政で検討する必要があるのではないか。ただし、管理について、地域が係っていくことが重要である。（コーディネーター）

- ・住民で、カフェを運営することが考えられる。公民館としては機能が多すぎるので、民間に出したほうが良いのではないかと。(コンサル)
- ・指定管理制度を導入することは、まだ考えていないと思われる。(市)
- ・公民館でのカフェ開設の可否を確認する必要がある。(コーディネーター)
- ・夜間照明は、トラックの中心を避け、周囲に配置した。照度は1ルクス程度である。周囲の住宅に当たらないよう工夫することが考えられる。(コンサル)
- ・フットライトにしたらどうか。
- ・他地区の事例はあるが、維持管理が大変で地元負担が増えてしまう。また、フットライトでは、周囲を明るく照らすことができない。間接照明のほうがまだ明るい。(市)
- ・フットライトは、公園で使うことはない。(コーディネーター)
- ・公民館の3階から照らすようにしたらどうか。
- ・ソーラーパワー式の照明が可能か。
- ・ソーラーだと電力量が弱いので、あまり明るくはない。非常電源程度である。非常電源なら公民館にあると思う。(コーディネーター)
- ・以前の案では、照明をトラックの中心に設置する案であったが、ポールに紐を付けてトラックラインをひくことが可能な仕組みを考えていた。ポールを立てる穴を設けておくなどの工夫をすれば、その仕組みが可能である。(コーディネーター)
- ・テント設置スペースを確保すると、複合遊具を置く場所が取れなくなるので、配置の検討が必要である。(コンサル)
- ・緑道と公園の境界には、視界を遮るものは設置しないほうがよい。見渡せるように植栽ではなく、遊具などを設置することが考えられる。
- ・植栽スペースが減ってきているので、高齢者の利用を想定した健康エリアは低木で区切ったらどうか。公民館の南側は、ウッドデッキになっており、公園側を観覧席にすることが想定されているので、周辺の植栽位置を検討しなおさなければならない。(コンサル)
- ・公園の規模は、ソフトボールの公式戦ができる程度である。(コンサル)
- ・少年野球やサッカーなどは、広めの練習程度ができる。グラウンド型になっているが、緑道と合わせて見れば、緑は取れている。(コーディネーター)
- ・グラウンドゴルフやパターゴルフなどの利用も考えられる。(コンサル)
- ・原則自由に使用できるが、需要が多い場合は予約制にすることが考えられる。専用時間など地元で利用調整する必要がある。ただし、公園をコントロールする権限があるかどうかの問題があるので、公民館と一緒に管理してもらうことが良いのではないかと。公園と公民館は一体化する方向性を展開したらどうか。(コーディネーター)
- ・公民館の管理や、生涯学習などは、教育委員会が担っている。公民館ワークショップでは、外での利用イメージが多かった。生涯学習として外で教室を行う場合もあるので管理も一緒にやっていただけたらどうか。公民館に投げて見てはどうか。(コンサル)
- ・ピザ窯を設置する意見があった。いぐねを配置し、間伐した枝を乾燥させて薪にし、防災訓練の時の炊き出しやピザ窯に使うことが考えられる。公園での火器使用については、市の許可を得れば可能と思われる。(コーディネーター)
- ・かまどベンチについて、公園は一時避難の場所として考えるのであれば、あまり数は必要ないが、災害時にスムーズに使用ができるように訓練は必要であるので、いくつか設

置しておくことが考えられる。(コンサル)

- バックネットは腰板程度のものだが、かまどベンチ等と合わせて使用すれば、カウンターなどに活用ができるのではないか。(コーディネーター)
- 避難訓練は、学校で閉上全体一緒にやったほうが良いのではないか。
- 炊き出し訓練は重要である。訓練をしておかないと、保管場所や使用方法、調理法などがわからない。
- 指導のため、ジェネラリストを要請することなどが考えられる。かまどベンチなどは、実際に使用する場所で訓練することが必要だが、訓練しておけば他の場所でも応用ができる。(コーディネーター)
- マンホールトイレの訓練はやったことがないので、やったほうが良い。トイレの保管場所も把握していない状況である。東日本大震災時がそうだったが、災害用のトイレや、シャワールームなどは、女性には抵抗があったようである。訓練で経験しておくことが必要である。目隠し用の幕は、コンパクトなものほど薄く、透けてしまうという問題があるので、改善する必要もある。
- 東屋をどうするのか。トイレを公園側とする場合、住宅側には持っていけないので、配置を検討する必要がある。下水道の配管の問題もあるので、緑道沿いとする場合は西側のほうが良いと思われる。(コーディネーター)
- 公園利用者の駐車場は、公民館の駐車場を利用することで良いか？
- この規模程度の公園では通常駐車場は設置しないが、公民館があるので、駐車できるような公民館にお願いすることが考えられる。(コーディネーター)
- 東屋については、地区民運動会時の入場門とする場所に置くと邪魔になるので、位置を検討する必要がある。(コンサル)
- 東屋は、5,000㎡程度の公園で、3つは必要ない。(コーディネーター)
- ロビーカフェがあるなら、東屋は必要はない。
- 東屋は不要ということですね。(コーディネーター)
- 災害用倉庫はどのような使われ方がされるのか？
- 公園の維持管理等のために利用される。(市)
- 多用途にも使用したいのであれば、用途、必要性などを地元から提案し、作ることが考えられるが、市との協定や責任者をおく必要がある。(コーディネーター)
- 倉庫建設費は、地元負担となることも考えられる。(市)
- 仮設住宅で使用しなくなった倉庫を、移設して利用することが考えられる。
- 仮設住宅の倉庫を並べるなどし、スタンド等に利用したらどうか。住宅地へほこりが廻らないようにならないか。
- 3m程度の高さでは、風が吹くとほこりは舞ってしまうので、高木を並べたほうが良い。(コンサル)
- 閉上まち協として提案するにあたり、公園のセールスポイントは何か。大きく3つぐらい、キャッチコピー的なものがあると良いが。
- 現在までの主な意見は、次のとおりである(コーディネーター)
 - 閉上の中心に位置する。
 - 防災拠点となる。

- フェンスが無く、どこからでも入ることができる。
- 誰でも自由に使える。
- ボール遊びができる。
- 地形が平坦である。
- 外で健康的にゲームができるように、フリーWi-Fi が設置され、東屋でゲームなどができるということもある。
- 公園での利用に特化したアプリを開発したらどうか。鬼ごっこや宝探しに出来ないか。
- 緑道と公民館が一体となっている、閑上の中心にある、誰もが自由に使える、地区住民と来訪者の交流する場所などを整理したらどうか。(コーディネーター)
- 20文字ぐらいでまとめられると良い。公民館のキャッチフレーズもあったほうが良いのではないか。
- 赤ちゃんからお年寄りまで寄ってみたくなる公民館などはどうか。
- この規模の公民館なら閑上地区の全世帯が利用できる。(コーディネーター)
- 仙台市にある児童館では、赤ちゃんから年寄世代まで自由に使えると書いてあった。
- 公園という言い方でないほうが良いのではないか。
- 自由を自遊と書くのも面白い。(コンサル)
- 自遊空間が良いね。
- 最初に短い文で、下に20文字ぐらいで書き、項目が3つぐらいあれば良いのではないか。3月22日に世話役会を開催し検討したらどうか。参加できる時間は20時くらいになってしまうがいかがか。(コーディネーター)
- 時間は19時からとし、公園の検討を主とした世話役会にしたらどうか。(コンサル)
- 総会は5月14日(土)に開催する。中央公園と、小中一貫校の前の街区公園について提案する予定である。
- 緑道は地区全体を考えて検討する必要がある。街区公園は周辺の換地の方中心の検討となるので、事業の進捗合わせることとなる。ポケットパークのあり方については使い方のイメージなど検討が必要である。
- 細かいところまででなく、基本線を市に投げたほうが、市もやりやすいのではないか。
- 今後の検討予定等を総会で報告したらどうか。(コーディネーター)
- この地区の全体的な、植栽などのガイドラインがないので、検討を深めることが難しい。緑道を中心に全体的に検討していったほうが良い。工事順序を考えると、ポケットパークの形が先にできる可能性がある。(コンサル)
- 復興公営住宅付近は形が先にできる。
- 公園については、形ができたとしても、中身の整備はまだ考えていない。とりあえず広場だけになる。3次提案では、植栽の提案があったが、種類の話まではなかった。
- シンボルツリーを配置したらどうか。
- 緑道のあたりにあったらよいのではないか。(コーディネーター)
- 他地区で、クリスマスツリーに使用できるよう、モミの木を植えた例がある。
- 新閑上公民館ができる前に、先行して公民館活動をしようという話がある。
- ここでやることが重要なのではないのか。
- 地区民運動会を早くやりたいから、ここを早く造成してほしいとお願いすることも考え

- られる。(コーディネーター)
- 総会の提案では、全体の緑のイメージは、緑道を中心に検討していこうということにしたらどうか。(コーディネーター)
 - 緑道でイメージを作り、緑道にぶら下がる街区公園をこうしていこうというふうに考えられる。(コンサル)
 - 区画整理事業やかわまちづくりの計画の動きにより、土地利用が変わってきているので、考慮しながら検討する必要がある。かわまちづくりの計画では、名取川沿いに賑やかな空間を造ろうとしている。(コンサル)
 - 緑道と合わせて、街路樹の検討をしていったらどうか。線を抑えていけば、ぶら下げている公園をどうしていくか、そこから広がっていくイメージで考えたらどうか。緑道の樹木が決まらないと進まない。(コーディネーター)
 - 中央公園の横の道路について、現在の計画では、植樹マスが無く街路樹が入らない。プランター程度なら可能であるが、植樹マスを設けるなどは調整が必要である。幅員構成の変更は可能と思われるので、公園緑地の提案として出していくことが考えられる。(コンサル)
 - 閑上地区の緑のマスタープランを作ったらどうか。中央公園は単独で検討することは可能であるが、その他の街区公園については、全体の大きな方向性がないと後でずれが生じてしまう可能性がある。(コーディネーター)
 - 閑上の緑の骨格や公園緑地と街路樹について検討するにあたり、道路の構成等の確認をしてほしい。歩行者の主要導線を考え、かわまちづくり計画とどう繋ぐか、居住地とうまく繋がらないとならない。(コーディネーター)
 - 中央緑道についての以前の提案では、4つのイメージを挙げ提案していた。
 - 中央緑道の提案について、修正が必要なら再度検討したらどうか。(コーディネーター)
 - 緑道については、道路との交差などにより分断がされないように考える必要がある。
 - 緑道は、西から東まで色を分け、変化させたほうが良いのではということで提案している。
 - 他地区の例を参考にしたらどうか。定禅寺の中央帯をイメージしたらどうか。あれは両側車道だが、それが公園や住宅となる。他にあまり例がないから売りになるのではないのか。(コンサル)
 - 中央公園は、閑上の中心、公民館と一体化、自由に使えるなどを整理し、こういう公園ですよ、形はこうですよ。また、閑上全体の緑の考え方を再度整理して全体の骨格組み立てをし、次の段階へと進むことを総会で説明したらどうか。(コーディネーター)
 - 閑上らしい木としては、行燈マツやヤナギが思い浮かぶが、このような木を配置することも考えられる。(コンサル)
 - 通常マツは土手に配置するが、やってみてはどうか。(コーディネーター)
 - マツやヤナギを15mの幅員で配置する場合は、木の大きさなどを検討する必要がある。(コンサル)
 - みちのく杜の湖畔公園のように花壇を配置することも考えられる。

- 花壇は、植え替え等が大変である。他地区では、大きな公園で種から苗を作り、一部を植え、残りは他へ上げることをしている例がある。(コーディネーター)
- 宮城県庁前のように、学校とタイアップすることが考えられる。
- 4,000~5,000 m²程度の規模なら、20人程度いればできる。種代は安い、水道代がかかる。ボランティアなら良いが、人件費がかかる。この地区で、苗を作るのであれば、温室が必要となる。一か所ぐらいあっても良いと思うが、やる人がいないとできない。(コーディネーター)
- 花を育てることが好きな人もいる。仮設住宅では数%の方がやっていた。
- 花壇の手入等を行っているボランティアの方で、今後も継続したいといっている方もいる。
- 自分達でやる必要がある。(コーディネーター)
- 年寄の引きこもりをなくすために、引っ張り出すことも考えられる。やる人は結構いると思う。コミュニケーションづくりにもなる。花を育てたい人に緑道を貸したらどうか。
- 神戸市の例では、ガラスの温室があった。費用の心配はあるが、行政に提案し、行政に考えてもらい、ダメならまた違う提案をすれば良い。神戸市に研修に行くことも考えられる。

以上

